

# いわみ探訪健康ウォークに参加して

## 公民館 だより

No.414

問い合わせ先

岩美町中央公民館

☎72-0510 FAX73-1440

11月19日(土) 開催

催した「いわみ探訪健康

ウォーク」の参加者から感想を投稿していただきましたので紹介します。この日はあいにくの雨模様でしたが10名の参加者があり、しっかりと学習しました。

今回のウォークは山陰海岸学習館に集合、館内でジオの解説の後、館の裏山を通り、くまや海岸(熊井浜)で地質と澤田美喜さんの話を聞くというものでした。

この日は雨のため、裏山での植物の話や木の名札付けは中止となりました。

学習館では職員の方に日本列島が出来た様子を年代を追って説明して頂きました。その中で動物の足跡化石には、びっくりしました。日本列島と大陸とつながった時期があり、ワニやゾウが私達の住んでいるあたりに



も居たそうです。ナウマンゾウの牙が底曳の網にかかったとか以前聞いたことを思い出しました。

対馬暖流が流れこむ入口と、北の寒流の入口が非常に浅く狭いのに最も深い所は、富士山よりも深いそうです。暖かいところと冷たいところ、浅い所と深いところが狭い日本海にはあり、それぞれの場所に適応したたくさんの種類の生物が生きているそうです。日本海は本当はすごく広いんだ、大きいんだと思いました。

日本海にいない生物はシーラカンスだけかな、ひよっとして、日本海で新発見とは、やっぱりダメかな。

くまやの海岸では、海に向かって左は花崗岩、右は凝灰角礫岩と云って、火山の噴出物でできた岩石で龍神洞まで続いているそうです。

くまやの浜は花崗岩とこの岩石との断層面で、田後の先に見

える黒島の方向にこの断層の線が続いているそうです。私は今、断層の上にまたがっているのです。アラレ石やマンガンの結晶、たくさん穴のあいた岩も見ました。勉強になりました。

澤田さんの別荘では、澤田美喜さんが夏にサンダースホームの子ども達をつれて来るようになった訳や、どういうふうに一夏を過ごしたかを聞きました。特に城原や金峯山の弁当持ち遠足、夜は植物や貝、魚、岩石のことを東京から招いた専門の先生から聞いたそうです。青谷の紙すき、牛ノ戸焼きなども見学、もちろん遊覧船にも乗ったそうです。

私は子ども頃のこんな経験をしたらどうするか。今までにどれほど経験したのだろうか。子どもには何を見せたり、話してやっただろうか。真剣に考えさせられました。

澤田美喜さんは多くの孤児を育てた立派な人だということしか、実は知らなかった自分に気がきました。もっと知りたいと思いました。

私の女子力はなんだろう。歴女、鉱石女、生物女・・・。

別荘での自前の弁当、本当に美味しかった!!

### 岩美川柳会

バランスはどうあれピカソの絵は光る  
石谷 忠良  
黙っていても目と眼と瞳とは通じ合う  
石谷美恵子

黙認の口止め料をせびられる  
山下 蟹郎  
嫁に来た下駄が今でも箱の中  
飯野 莒子

物言わぬ村の大樹に聞きに行く  
小西 幸安  
家族の和バランス役の母が居る  
山下 節子  
黙っている私居ること忘れられ  
山田 たぬ

### 松かさ短歌会

浦富の荒れた潮の風受けて二人  
抜きゆく我が応援に

生れしときにぎりこぶしにはじけたるなみだ光りきその子十六  
城戸千鶴子  
曾孫らは早くも呼名おほえくれ  
安木 和代  
て力を入れ大はあばと言う  
横山 芳子

高原の木立はおおよそ枯れていて銀杏の木のみ黄の色にたつ  
井筒三重子